

会報 青森県在宅保健師の会



令和5年8月発行・第42号

令和5年度青森県在宅保健師の会 総会並びに設立25周年記念パーティー

令和5年度青森県在宅保健師の会
総会並びに設立25周年記念パーティー



去る6月5日、青森市「アップルパレス青森」において、令和5年度青森県在宅保健師の会総会並びに設立25周年記念パーティーを開催し49名の会員が出席しました。

総会では、新井山洋子会長の挨拶のあと、小島瑩子会員（三戸町）を議長に選任して議案審議に入り、提出された令和4年度事業報告・決算、令和5年度事業計画・予算（案）は、全て原案どおり承認されました。

総会に引き続き開催した会設立25周年記念パーティーでは、澤谷幹事の司会のもと、新井山会長の主催者挨拶に続き、来賓の青森県健康福祉部長 永田翔様、青森県国民健康保険団体連合会常務理事 舩甚悟様（奈良敏弘事務局長代読）から、心温まるご祝辞をいただきました。この他にも、青森県からがん・生活習慣病対策課長 三村光司様、同課課長代理 山田淑子様にご出席いただきました。

その後、柴田ミチ会員（青森市）の乾杯、参加できなかった会員からのメッセージ披露や活動発表、アトラクションで大いに盛り上がり、終始和気あいあいとした雰囲気ですべて25周年を祝うことができました。

結びに、北山副会長より「5年後の30周年にまた元気にお会いしましょう」と再会を祈念して閉会しました。

総会並びに 設立25周年記念パーティー プログラム

10:00	総会開会
11:00	写真撮影
11:20	記念パーティー開会 主催者挨拶 来賓祝辞及び来賓紹介
12:00	乾杯
12:05	歓談（昼食）
12:35	活動発表、アトラクション、感想
14:20	お礼のことば
14:30	閉会

設立25周年記念パーティー

会長挨拶 (要旨)

会長 新井山 洋子



青森県在宅保健師の会が設立25周年を迎えることができ、心から感謝している。

これまでの25年という長い歳月を積み重ねることができたことは誠に意義深く、ひとえに青森県並びに青森県国保連合会の並々ならぬご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

先般、青森県保健師の大先輩である「花田ミキ」さんの映画化が決まり、会として映画製作への協力をし

た。改めて「花田ミキ」さんの功績に思いを馳せると「命を阻むものはすべて悪」という信念の下、青森県の保健師活動の基礎を築かれたことは、県内はもとより全国でも高く評価されてきた。私たちも、歴史のバトンを次の世代へ繋げるよう「知の伝承」を大切に、今後とも活動して参りたい。

本日は、これまでの活動を振り返ると共に、久々に会う仲間と大いに歓談し、楽しく笑い合っただけで、明日からの会の活動の活力としていただきたい。

祝 辞 (要旨)

青森県健康福祉部 部長 永田 翔 氏



青森県在宅保健師の会の皆様には、保健師の姿勢等を新任保健師に伝えていただく「新任等保健師育成支援事業」や地域の方々の健康づくりをはじめとした保健福祉活動の推進にご尽力いただいております、深く感謝と敬意を表したい。

青森県では新型コロナに関する取組の整理と評価を行う振り返りを実施した。その結果、死者数、感染者数ともに全国平均を良い方で上回っていることが確認された。この素晴らしい結果は、県民の協力はもちろんであるが、何より在宅保健師の会の皆様や、現場で働く保健師の皆様が、八面六臂と言えるような活躍を

していただいたおかげであると心から思っている。

一方で、がん検診の受診率がコロナ禍で低下した等の「負の効果」をもたらし、それらを取り戻していく日々が始まる。「今を変えれば！未来は変わる!!」の青森県のスローガンのもと、引き続き県としても県民の健康状態の向上に向けてしっかりと取組を進めていく。

また、3月に「青森県受動喫煙防止条例」を制定することができたが、今年これを県民にしっかりと伝えていき、運動や食生活改善のイベント等でPRするなど、力を入れていきたい。

会員の皆様にはご支援・ご協力をよろしくお願ひしたい。

祝 辞 (要旨)

青森県国民健康保険団体連合会 常務理事 舩甚 悟 氏 (代読：奈良敏弘事務局長)



本日は、大勢の会員の皆様がお顔を揃えて記念パーティーが開催されたことに対し、心からお祝い申し上げます。

まずもって、青森県在宅保健師の会の皆様は、飽くなき向上心のもと、日々研鑽を積み重ねるとともに、地域住民の健康の保持・増進に寄与されていることに、深く敬意を表したい。

さらに、ここ数年、感染拡大を幾度となく繰り返した「新型コロナウイルス感染症」については、IHEATとして保健所の積極的疫学調査やワクチン接種等に率先してご協力され、現職保健師を支えようとする皆様の姿勢に心から敬服している。

さて、在宅保健師の会は全国でも組織されており、会員保健師の皆様は現役を離れても活躍されているところである。中でも本県の会は会員数が190名を数え、全国2位の規模を誇るとともに、県や市町村、国保連合会と連携した県民の健康を支える事業を数多く実施してきたことから、高く評価されている。

また、県内市町村からは、皆様のお力をお借りしたいとの声が絶えず聞かれており、是非とも皆様の「保健師魂」を次の世代に伝えるべく、引き続き保健活動にご尽力いただきたい。

私共、国保連合会においても、皆様方がこれまで以上に力を発揮し、より良い活動ができるよう全力で支援していくので、よろしくお願ひしたい。

活動発表

1 DVD映写「あしたにむかって」

昭和50年代の保健所保健婦が地域へ出向き活動する様子をまとめたDVDを上映し、当時を振り返りました。

2 青森県在宅保健師の会歴史紹介

会長 新井山 洋子

会の歴史やこれまでの活動を振り返り、会の役割を再確認しました。

2. 目的

地域における保健活動の重要性を認識し、地域住民の健康づくりを支援するため、保健師資格を生かし、地域の保健・福祉活動に寄与するとともに、会員の資質の向上を図ることを目的とする。

モットー

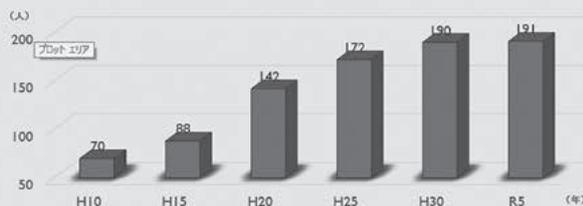
- 会員の自主的な保健福祉活動を尊重し、支援する。
- 市町村や県など関係機関等との連携のもと現職保健師が実施する保健福祉活動に積極的に協力する。
- 保健師としての知識・技術等の質を担保するため会として研修を開催するなど常に情報発信していく。

3. 会のあゆみ

年月	実績
平成10年 4月	「青森県保健婦の会」設立、会員数70名
平成18年	保健協力会員の県組織化への全面支援
平成19年	「青森県在宅保健師の会」に会の名称を変更
平成20年	青森県新任等保健師育成支援事業にトレーナー保健師として協力(令和4年度で事業終了)
平成22年12月	青森県健康づくり事業功労者等表彰受賞
平成25年 5月	東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状受賞
平成26年 3月	公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰受賞
平成26年	地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業にアドバイザーとして協力 小規模保険者支援事業に協力
令和3年	新型コロナ支援として、IHEAT登録し保健所の夜学調査、77千接種支援に協力

4. 会員の状況

(1) 会員数



(2) 会員の年齢構成(R5.5.31現在)

年代別内訳	30歳代以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	年齢不明
人数(人)	2	7	13	71	77	15	3	3
割合(%)	1.0	3.7	6.8	37.1	40.3	7.9	1.6	1.6

5. 本会の役割

在宅保健師は、これまで同様に在宅保健師として地域活動を地道に続けるとともに、その経験を活かした支援活動にも参画するなどし、保健師活動の「知」を伝承していく役割を担っている。

在宅保健師の会の役割

- ★本会として、相互に顔を合わせて意見交換・情報交換できる機会を大事にする。
- ★現職保健師が関与しやすい内容の取組を本会として計画するなどし、一緒に住民の健康づくりを考える。また、現職からの依頼は可能な限り受け入れ活動する。
- ★会員の意見を吸い上げた活動に努める。

(当日発表資料より抜粋)

3 地域の保健・福祉活動

(1) “緑町”いきいき百歳体そうクラブ

北山 つね子(東北町)

4. 活動状況

- ・百歳体操はビデオが先生
- ・準備物品

重り: 包括支援センターから借用
テレビ: 使わなくなったものを使用
デッキ: 福祉事業の予算を活用し購入



5. 活動内容

- ・足の体操
- ・食炊の調理実習
- ・集会所の草とり
- ・町内会の行事に積極的に参加
- ・お茶会
- ・レクリエーションなど



5. 活動内容

- 工夫していること
- ・できるだけ町の事業費等を利用
- ・調理の際は材料を持ち寄り多少の自己負担をしてみよう



食次の調理実習

- 参加者
- コロナ前：17人前後
- コロナ禍：6人前後

→包括支援センターから中止の指示がない限り継続を目標に続けたい



6. 課題

- ・開始当初のお世話係がいなくなり、リーダーの負担が大きくなっている。
- 民生委員、ほのほの交流員に声掛けをし、協力いただいている。

協力者を増やす、引き継いでくれる年代の人を育てる！

- ・令和4年度で助成が終了したため、今後活動費の捻出が必要
- 材料費の自己負担と町内会事業として予算申請を検討中

- ・町内会が自主的に実施するという趣旨で始まったが、行政との連携について検討が必要

(当日発表資料より抜粋)

(2) ラジオ体操とワイワイロコトレの会

千葉 綾子(青森市)

地域の保健・福祉活動支援事業活用のきっかけ

- ①北部地区農業環境改善センターでの「体操教室」の存在
- ②「体操教室」を主宰するリーダーの存在
- ③この「体操教室」が「自分に一番しっくりきた」と参加した津島会員

まさに「在宅保健師の会」の事業理念と一緒だね!!

- ④誘われて一緒に参加した千葉会員による本事業への申請手続き

「自分の身体に合わせ好きなように動かして貰う」「継続は大事だが参加勧奨はしない」「参加したら一緒に体操しよう」



元中学校体育教師 正田祐子先生

会の目的等

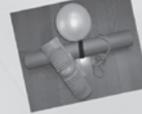
目的:ロコトレ運動を中心に、農家の「かっちゃん」が加齢による体力低下と腰痛予防のため、童謡に合わせて身体を動かし生涯現役で農作業に携わるための体力づくりをし、健康上の問題がない状態で生活を送れる期間を延ばす。

場所:青森市北部地区農村環境改善センター(北部市民センター)体育館

時間:毎週火曜日午前10時~11時30分

使用物品:足踏器、ヨガマット、ストレッチゴム、ヨガボール

「なつかしの日本の名歌集」



- 1.花
- 2.赤とんぼ
- 3.叱られて
- 4.待ちぼうけ
- 5.夏の思い出
- 6.浜辺の歌

会の様子(その2)

津軽弁「ラジオ体操第1、第2」!!



一人ずつ10回歌えて「1,2,3...10」



腹筋(両足)

ストレッチして、次へ



片足ずつ

ゴムバンド使って



ゴムバンド使って

参加者の声

身体を動かすことが楽しい!

体力がついた

皆と話ができる

膝・腰痛が緩和した

運動が大事と実感している

気持ちが明るくなり、友達もできた

会に参加すれば家でしない体操が続けられる

皆と笑い合う等認知症予防につながり継続して参加したい

(当日発表資料より抜粋)

アトラクション

1 踊り(八幡馬)

越後監事、中居幹事の指導のもと、出席者全員で大きな輪になり曲に合わせ踊りました。

2 合唱・感想

越後監事の指導のもと、「四季の歌」と「花」を全員で合唱しました。

その後、各テーブルの参加者から感想をいただきました。第3代会長の古川あき会員からは「18歳と81歳の違い」をご紹介いただき「恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳」「自分探しの旅をしているのが18歳、出掛けたまま分からなくなって皆が探しているのが81歳」等々、会場が大きな笑いに包まれました。

北山副会長のお礼のことばの後「今日の日はさようなら」を全員で合唱し閉会となりました。



総会並びに 設立25周年記念パーティー 参加者アンケートから

○総会について

- ・スムーズに進行し良かった
- ・会の活動について、良く理解できた

○設立25周年記念パーティーについて

- ・久しぶりに食事をしながら懐かしい顔ぶれと会話ができ楽しかった
- ・地域の保健・福祉活動の発表が参考になった

○会の活動に対する意見、要望、その他

- ・意見交換する時間があれば良かった

○後輩保健師へのメッセージ

- ・地域住民とのふれあいを多く持って欲しい

令和5年度事業計画（具体的事項）

1. 総会（6月）
2. 役員会（4月、7月、11月、3月）
3. 在宅保健師等会連絡会議
 - (1) 東北地方在宅保健師等会連絡会議（開催県：青森県）（12月）
 - (2) 都道府県在宅保健師等会全国連絡会（1月）
4. 各種研修会等の開催及び案内
 - (1) 在宅・現職保健師保健所ブロック別交流会並びに研修会（共催）（10月上旬～11月上旬）
 - (2) 関係機関（県・国保連合会等）研修
5. 地域の保健・福祉活動支援事業
6. 広報活動
 - (1) 会報の発行 年3回（8月、12月、3月）
 - (2) ホームページの更新
7. 会設立25周年記念事業【新規】
 - (1) 記念パーティー（6月）
 - (2) 記念誌の発行（3月）
8. 会員近況アンケートの実施（隔年実施）
9. 県・市町村・国保連合会等からの要請事業等への支援・協力
 - (1) 保健師の人材育成への支援
 - (2) 小規模保険者支援事業（10月16日～18日）
 - (3) 青森県保健協力員会等連絡協議会
 - (4) 各種委員の委嘱、各種事業等
 - (5) その他

新入会員紹介

今年度、6名の新入会員を迎えました！（令和5年7月現在）5名の方々からメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

松山 秀子（青森市）

私は令和5年3月31日付で平内町役場を退職しました。現役中は諸先輩方に励まされ、相談にのっていただきパワーをいただいて何とか定年退職を迎えることができました。感謝いたします。

現在は埼玉県越谷市で社会の最小構成単位である家族を支えようと決めて、娘家族のサポーターをしております。なんちゃって主婦でしたので、今は家事育児も楽しんで取り組んでいます。

また他の市町村の子育て情報や保健事業の取り組み、街の中で感じる人々の動きなど発見があってとても新鮮です。

少し落ち着きましたら、皆様と顔を合わせてお話しするのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

舘田 有佳子（弘前市）

青森県在宅保健師の会新入会員となりました舘田有佳子です。県保健師を定年退職し、皆様のお仲間に入りました。

先輩の皆様が、在宅保健師になって更に生き生きと保健師らしく過ごしている様子等を見聞きするにつけ、そのパワーに圧倒されると共に、前向きエネルギーもチャージされました。

4月から再任用保健師となりましたので、当面在宅保健師はひよっこです。今後も引き続きご指導等よろしくお願いいたします。

山村 由希子（八戸市）

私は八戸市職員を令和5年3月末で退職しました山村と申します。

入会のご案内をいただいた際、先輩方との情報交換がとても参考になり、また、パワーをもらえると伺い、早速入会の手続きをした次第です。

諸先輩の皆様とお会いできることを楽しみにしております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

荒木 育子（八戸市）

今年3月に八戸市を退職し、在宅保健師の会に入会させていただきました荒木と申します。

パワフルな先輩方の背中を見ながら、私なりに少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

畑中 育子（おいらせ町）

私の保健師人生は「上り坂、下り坂、まさか」の連続でしたが、辛い時、苦しい時に先輩や同僚、町民に支え励まされ、なんとか定年退職を迎えることができました。

歌好きな私は、山口百恵並みに引退のマイクを置いたつもりでした。が、なぜか週3日「要対協」の仕事で、元の職場で働いております（笑）。「必要とされるうちが花」と自分に言い聞かせ、あともう少しだけ町民のために頑張ろうと思っております。会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度青森県在宅保健師の会会員近況アンケート調査結果



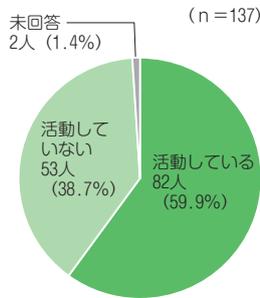
- 1. 調査時期：令和5年3月28日～4月28日
- 2. 調査対象者：195名（令和5年3月28日現在会員：195名、うち新規入会者7名）
- 3. 回収数：138（うちアンケートでの退会届10件）回収率70.7%
- 4. 回答数：137（退会でもアンケートに回答している会員9名）回答率70.2%
- 5. 結果

(1) 地域別年代別返答状況（単位：人、（ ）内：％）

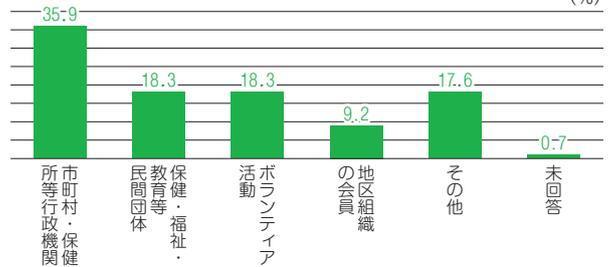
	会員数	30歳代以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
東青	48	2	1	4	12	8	2	29 (60.4)
中南	42		1	1	8	13	1	24 (57.1)
三八	38		1	1	11	11		24 (63.2)
西北	24		1	3	6	11		21 (87.5)
上北	34			4	13	11	4	32 (94.1)
下北	7		1		2	2		5 (71.4)
県外	2				2			2 (100.0)
計	195	2	5	13	54	56	7	137 (70.2)

(2) 地域での活動状況

- ・地域で何らかの活動をしていると回答した会員は59.9%であり、市町村・保健所等行政機関で活動しているとの回答が一番多かった。
- ・次いで、民間団体、ボランティア活動、その他が多くなっている。

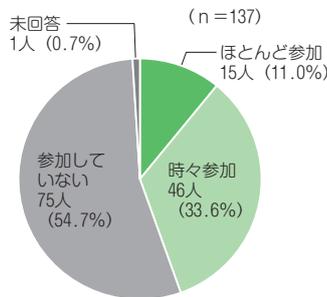


活動の場所・内容等（複数回答）（％）

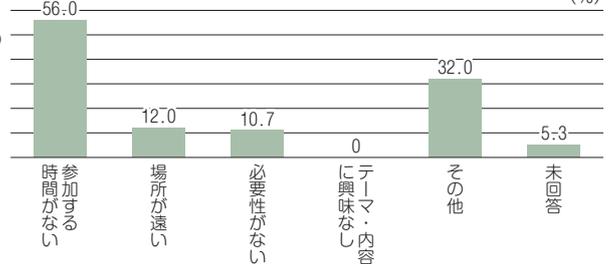


(3) 研修会参加状況

- ・44.6%の会員が研修会にほとんど参加・時々参加していると回答。
- ・参加していないと回答した会員の理由としては、「仕事や通院、介護等で参加する時間がない」が一番多かった。



参加していない理由（複数回答）（％）



(4) 会に期待すること（複数回答）

	①研修会の開催	②会報等による情報提供	③会員間の交流	④新規会員の勧誘	⑤市町村事業への紹介	⑥ボランティア活動参加	⑦その他	⑧期待することなし	未回答
件数(件)	74	112	64	29	27	24	4	3	11
割合(%)	54.0	81.8	46.7	21.2	20.0	17.5	3.0	2.2	8.0

- ・会員が会に期待することで最も多かったのは、「会報等による情報提供」で約8割の会員が回答している。次いで、「研修会の開催」、「会員間の交流」となっている。

(5) 県等関係機関への紹介（n=137）

	①紹介しても良い	②内容によっては考えたい	③紹介しないでほしい	未回答
人数(人)	23	46	59	9
割合(%)	16.8	33.6	43.1	6.5

- ・県等関係機関から在宅保健師の会への紹介依頼に対して、「紹介しないでほしい」との回答が多かった。次いで、「内容によっては考えたい」との回答が多かった。

(6) 会からの希望する連絡内容（複数回答）

	①会報	②研修案内	③WEB研修案内	④希望しない	未回答
人数(人)	117	85	28	10	3
割合(%)	85.4	62.0	20.4	7.3	2.2

(7) 会への意見・感想など

- ・在宅保健師の会があるだけでも有意義であり、継続して欲しい。
- ・毎回会報で会員の活動や懐かしい顔が見るのが楽しみ。
- ・今時の情報提供、研修案内、仲間との交流会など、大切な存在。会が継続できるよう応援したい。
- ・各先輩方のご活躍の様子から、仕事や生き方について、多くのことを学ばせていただいている。

研修報告

令和5年度青森県保健協力員会等連絡協議会総会並びに研修会

5月16日(火)にリンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)で開催され、本会会員9名を含む424名が参加しました。参加された井沼登志子会員(五所川原市)からの報告です。

(1) 総会

来賓挨拶：三村知事、新井山会長(代読：山谷副会長)

(2) 研修会

① 活動発表

座長：国立大学法人弘前大学学長特別補佐・
大学院医学研究科社会医学講座特任教授・
青森県総合健診センター理事長・
青森県医師会健やか力推進センター長

中路 重之 氏

「外ヶ浜町保健協力員活動発表」

活動発表者：外ヶ浜町保健協力員会会長 石田 ふさ子 氏

「保健協力員の皆さんへ：QOL健診の活用」

中路 重之 氏

② 説明

「心を動かす健(検)診のススメ 第2版」の紹介

説明者：青森県国民健康保険団体連合会

保健活動推進専門員 山口 久美子

③ 講演

「大腸がんについて」

講師：弘前大学医学部附属病院准教授・

医療情報部副部長 松坂 方士 氏



令和5年度青森県保健協力員会等連絡協議会研修会に参加して

井沼 登志子 会員 (五所川原市)

私は、在宅保健師の会を通じ「中泊町健診事後指導事業」に協力し、健診結果の説明と保健指導、がん検診の精密検査の受診勧奨に協力しています。結果説明の内容は刻々と変わっていきますので、現役時の「昔とった杵柄」ではとても最新の情報には追いつけず現場では冷や汗をかいています。

そんな折に、当研修会の通知を頂き「健診」「大腸がん」というキーワードに引き付けられ参加しました。保健協力員研修会は、コロナ禍を過ぎてからの久々の集合開催でしたが、多くの保健協力員、関係者で会場は埋め尽くされていました。

講演後の質疑では「大腸がん検診を続けて受けている方で、精密検査で病院へ行けば異常なしが続いてい

るから今年は受けない」という方への対応について質問が出ました。私も、説明会でよく耳にする相談者からの質問です。松坂先生からは「原因があるから精密検査になるのであって、早期発見、治療のため、是非精密検査は受けてほしい。検診は毎年必要である」とのことなので、それぞれの事情にあった指導をしようと思いますが、ここは肝に命じて説明していきます。また「青森県は、大腸がん検診の受診率は高くなってきているが、がんの初回治療での5年生存率が低く、併存症(糖尿病、腎臓病、他のがん疾患、高血圧など)があることで十分な治療ができていないこともある」とお話しされていたので、これらの研修内容を今後の保健指導に活かしていきたいと思います。

令和5年度地域の保健・福祉活動支援事業活用団体

第2回役員会（7月20日（木）開催）で決定した今年度の地域の保健・福祉活動支援事業活用団体は以下の4団体です。

- (1) 飯詰ふれあいっこ（五所川原市） 代 表：鳴海 寧子（5年目）
- (2) ラジオ体操とワイワイロコトレの会（青森市） 代 表：千葉 綾子（4年目）
- (3) 来てみんな会（十和田市） 代 表：長瀬 比佐子（2年目）
- (4) 白石分館ほのぼの交流会（七戸町） 代 表：八嶋 昭子【新】

当事業は、地域で会員が独自に取り組んでいる保健・福祉活動を支援し、会員の自主的な活動の推進と地域貢献を図ることを目的としたもので、助成期間は原則5年間となっております。助成対象活動は以下のとおりです。ボランティア活動等、地域の活動をされている方はぜひご活用ください!!

助成を希望される場合、ご不明な点がある場合は事務局までご連絡ください。

【助成対象活動】

- (1) 乳幼児及びその親を対象とした子育て支援活動
- (2) 児童期・思春期・青年期を対象とした保健福祉活動
- (3) 高齢者の健康増進や介護予防、認知症予防等を目的とした保健福祉活動
- (4) 障がい者の健康増進や社会復帰支援を目的とした保健福祉活動
- (5) 地域コミュニティを活用した保健福祉活動
- (6) その他、在宅保健師の会役員会において、助成が認められた保健福祉活動

お知らせ

令和5年度在宅・現職保健師保健所ブロック別交流会並びに研修会開催

保健所管内毎に在宅保健師が集い、近況報告し合いながら親睦を深めるための交流会と「転倒予防のための運動」をテーマとした現職保健師との合同研修会を行いますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。なお、詳細については、別途個別に通知いたします。

【日時及び内容】

管 内	日 程	開 催 場 所
弘 前	令和5年10月2日（月）	弘前市民会館
五 所 川 原	令和5年10月12日（木）	五所川原市民学習情報センター
む つ	令和5年10月20日（金）	むつ合同庁舎旧館
東 青 地 域	令和5年10月23日（月）	ねぶたの家ワラッセ（青森市）
上 十 三	令和5年10月30日（月）	市民交流プラザトワーレ（十和田市）
三 八 地 域	令和5年11月2日（木）	YSアリーナ八戸
〈時 間〉	11：30～13：00 在宅保健師のみの交流会 13：30～15：15 現職保健師と一緒に研修会	
〈内 容〉	①講演「転倒予防のための運動（仮）」 講師：各地区外部講師（理学療法士） ②質疑応答	

設立25周年記念誌原稿募集

今年度事業計画の一つである設立25周年記念誌について「後輩保健師に伝えたいこと」の原稿を募集しています。在宅保健師として今だから後輩保健師に伝えられること等、あなたの想いを執筆しませんか。原稿は9月20日までに事務局までお送りください。あなたの寄稿をお待ちしております。（600字以内）

編集後記

今年の夏はとて暑いですね。県内では35℃以上も珍しくない、暑い日が続いています。まさに「沸騰化の時代」を青森でも実感します。体調など崩されていないでしょうか。

さて「会設立25周年記念パーティー」が多くの皆様のご協力で盛会に終わりました。パーティーの終盤、各テーブルから出された「感想」で語られた思いからは、世代が多少違っても同じ保健師として苦楽を共にしてきた仲間だという一体感を感じ、今後も皆様の思いを大切に、会を支えていきたいと事務局として改めて思いました。最後に北山副会長からのお言葉をお借りして・・・「5年後の30周年にまた元気にお会いしましょう」。

